

# 「ハシゴ」道路の構築を目指して

著しい那覇都市圏への交通集中  
沖縄県の総トリップの85%が  
那覇都市圏に集中しており、と  
くに西海岸に位置する都市から

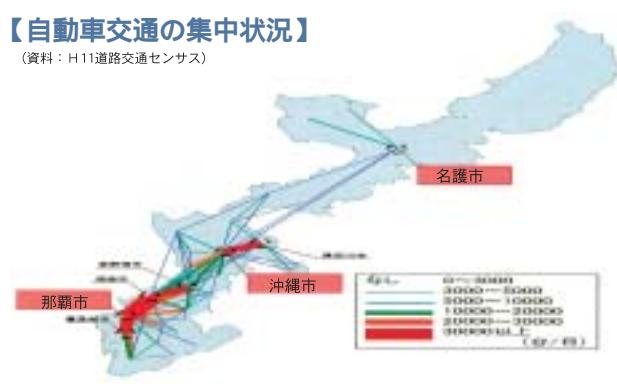


計画されている西海岸道路とあわせて、南北幹線道路の容量拡大およびアンバランスな利用特性の是正が重要となります。

道路のアンバランスな使われ方  
沖縄県を南北に縦貫する幹線道路において、国道58号、国道329号、国道330号は交通容量を超過する交通を処理するのに対して、沖縄自動車道は交通容量に余裕があります。

那覇市へのトリップが卓越しています。これらの交通集中は九州地区の他県の状況と比較しても著しいものとなっています。那覇市圏および南北方向の道路の強化が重要となります。

深刻な交通渋滞  
那覇都市圏の渋滞は著しく、沖縄県の渋滞損失時間の約6割が那覇都市圏で発生しています。道路整備等による抜本的な渋滞対策が必要です。

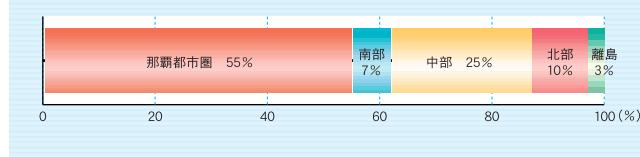


米軍基地による東西分断と利便性が低下する沖縄自動車道のICから高速道路が利用地分断から一部地域では高速道路が利用にくくなっています。例えば、宜野座ICや金武ICにおいては国道58号からのアクセス距離、アクセス時間ともに悪い状況にあります。

米軍基地による東西分断と利便性が低下する沖縄自動車道のICから高速道路が利用にくくなっています。



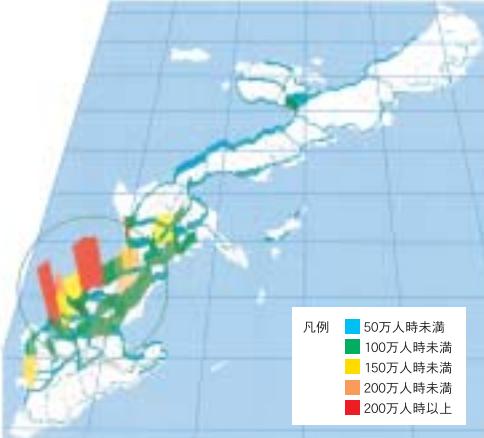
## 【渋滞損失時間の地域構成】



(資料：沖縄総合事務局、H11道路交通センサス)

## 1. 沖縄の現状と課題

### 【H16渋滞損失時間の状況】



# Special Edition

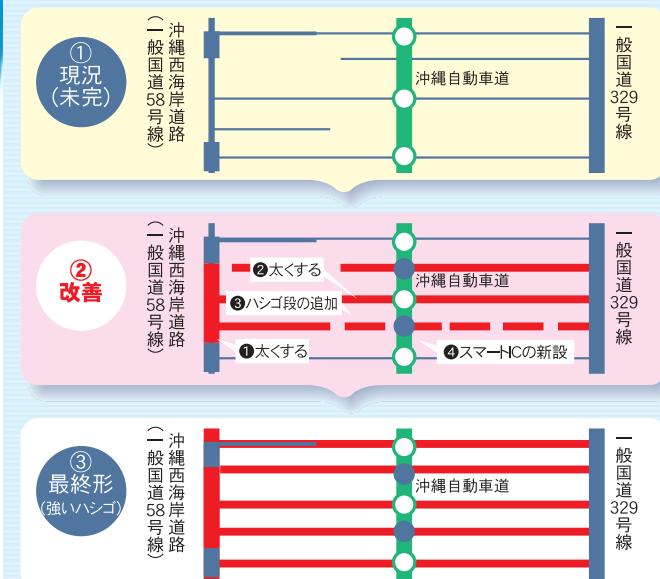
## 【完成時のハシゴ道路ネットワーク】



## 【ハシゴ道路4つの要】

- ①南北を走る強固な『3本の柱』  
国道58号(西海岸道路を含む)、329号、沖縄自動車道
- ②柱を支える『東西連絡道路』  
基地跡地の活用
- ③高速を使いややすくするICの増設  
スマートICの整備
- ④モノレールと高速バスの連携  
シームレスな乗り換えを可能とする

## ハシゴ構造の強化のイメージ

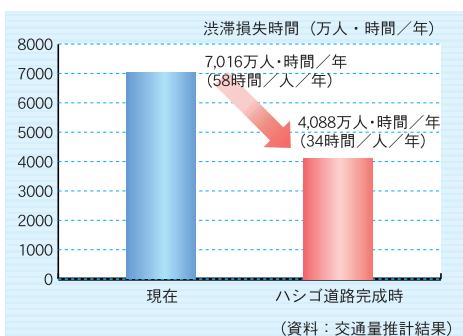


沖縄における交通問題を解消するために『ハシゴ道路』の整備を推進します。

## 2. 『ハシゴ道路』の整備計画



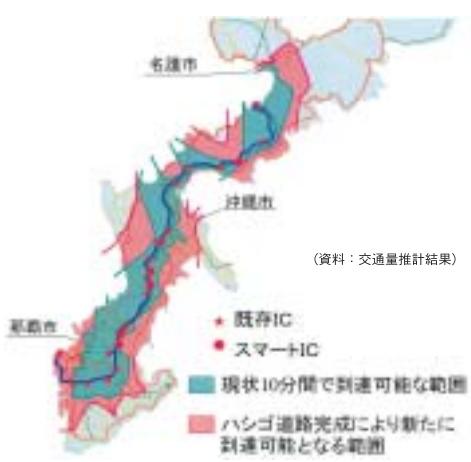
各地から那覇空港までの  
アクセス時間の短縮  
空港へ30分で到着できる人口が  
59万人から97万に増加



渋滞損失時間が58時間から  
34時間に減少

## 3. 『ハシゴ道路』に期待される効果

アンバランスな使われ方の解消  
はしご道路の整備により、国道58号に集中していた南北方向の交通需要が分散されます。



高速道路のICまでへのアクセス時間短縮  
高速道路のICへ10分で到着できる人口  
が54万人から93万に増加

